

雨水貯留管工事を開始し、 戸田駅西口と北大通り周辺の 浸水対策を進めます！

令和6年度末の完成に向け、雨水貯留管工事が始まります。北大通り（戸田駅西口付近から山宮橋付近まで）の地下に、内径6mの雨水貯留管を設置し、浸水対策を進めていきます。問い合わせ 下水道施設課 229-4673

雨水貯留管を設置することで、「浸水被害」を大きく軽減することができます
1時間あたり71.5mmの降雨（平成17年9月）を想定



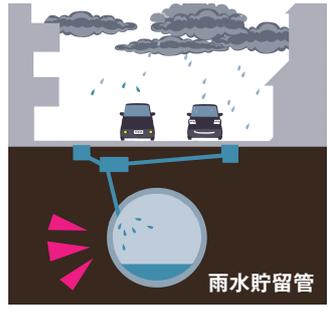
シミュレーションによる浸水想定深：
▲ 1cm以上 ▲ 5cm以上 ▲ 10cm以上 ▲ 20cm以上



大雨により、雨水を排水しきれず、道路にあふれてしまうことがあります。



シミュレーションによる浸水想定深：▲ 1cm以上 ▲ 5cm以上



雨水が側溝などを流れ、雨水貯留管に一時的にたまることで、浸水を防げるようになります。

※平成17年9月の降雨（時間最大雨量71.5mm、総雨量174mm）のシミュレーションであり、実際の降雨により浸水状況が異なる場合があります

告知 1 工事の概要はこちらです

[工事の概要]

北大通りの地下に、内径6m、長さ約920mの雨水貯留管を設置します。完成後に貯留できる雨水の量は約26,000m³(25mプール86杯分)であり、本市で記録した平成17年9月の降雨（時間最大降雨71.5mm/h）と同規模の降雨に耐えられるものです。

告知 2 工事に伴い交通規制を行います

北大通りの地下を掘削し、貯留管を設置していくために、発進立坑という縦穴を掘ります。発進立坑は戸田駅西口付近の北大通りの道路につくるため、施工時は通行止めや車線規制を行います。

[発進立坑施工箇所]

※交通規制の時間帯は、工事を行う昼間を予定しています。規制期間や方法は、関係機関との調整や工事の進捗状況により決定していきます



沿線の皆さんには、
施工時期や関係機関との調整が整い次第、
改めてお知らせします。